

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」とは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」です。貧困や紛争、気候変動による自然災害、感染症などといった世界中の人々が直面している課題を整理し、2030年までに達成すべき目標を立てた、未来への「道しるべ」です。SDGsには17のさまざまな目標があり、子どもたちも含め、あらゆる人がそれぞれの立場から目標達成のために行動することが求められています。

SDGsの掲げる17の目標



今、世界がどのような状況にあるの？

地球温暖化は気候変動を引き起こし、世界中に深刻な影響を与えています。資源の無計画な消費は、環境破壊だけでなく、時として紛争を引き起こします。開発や乱獲などにより生物多様性が失われつつあります。

このまま有効な温暖化対策に取り組まない場合、世界の平均気温は、産業革命前と比べて2040年までの間に1.5度以上上昇すると予想されています。

地球の人口は急激に増加しています。現在の世界人口約80億人から2050年には約97億人に達すると予測されています。

目標を達成できないと、どうなる？

例えば、「1. 貧困をなくそう」を達成できなければ、世界はどうなるか考えてみましょう。満足に食事ができない、学校に行けず教育を受ける機会が得られないなど、貧困がもたらす影響は深刻です。この問題に誰も向き合わなければ、貧困で苦しむ人が減ることはないでしょう。

貧困以外にも、世界中で起きている問題に目を向け「達成されないとどうなるか」「達成するとどう良くなるのか」をイメージしてみましょう。そうすることで、SDGsに取り組む必要性や重要性がより理解できるのではないのでしょうか。

どんなことができる？

SDGsは地球上で生活をしているすべての人が取り組むべき目標として設定されています。SDGsを達成するためには、一人一人の行動が必要不可欠です。できることを始めるためにも、この記事を読んでSDGsへの取り組みの参考にしてください。

